

春光



画題名…大原野の秋(清水六兵衛の別荘)
作者…菅沼房子(旧姓…将野 昭和35年卒)



ご挨拶

京都橘中学校・高等学校春光会

会長 松尾 律子

(旧姓 森野 S35年橘服本科卒)

緑輝く清々しい時季となつて参りました。卒業生の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。日頃は春光会に対する、ご支援・ご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。今年も春光会総会のご案内をお届けいたします。多数ご参加下さいます様お願い申し上げます。

さて、二〇一七年三月一日中高一貫Vコース二期生一一三期生二六八名の方が卒業し、春光会に入会され



ご挨拶

京都橘中学校・高等学校

校長 三輪 欣之

今年も桜の美しい季節となり、本校玄関前の桜のトンネルも成長とともに年々見応えが増してきたように感じます。同窓生の皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。日頃より母校への物心両面のご支援を賜り誠にありがとうございます。

二〇一六年度は「昨年度ご報告させていただいた「学園マスタープラン2022」実行二年目として各取り組みを発展させる年でした。桃山移転三十二年を終え、フェスティバルホール、教室関係に次いで二〇一六年度は特別教室棟3階を長期的な考えの元、生徒増にも対応できるよう改修することができました。予定された空調工事は諸般の事情により、次年度に繰り越すこととしました。また二〇一六年度の活動実績ですが、進路結果では国公立大学合格者数は六八名となりました。私立大学では関関同立一三〇名、産近龍佛一四八名といずれも過去最高でした。中高一貫Vコース二期生五三名を含む四コース二六八名の卒業生が全力を尽くした結果です。昨年度実績国公立大学七一

ました。グローバル化が進み、変革の激しいこの時代にあつて、どこまでも心強く堂々と人生を歩んで行かれますことを願っています。

私は昨年橘祭連絡協議会に出席させて頂き、その時の資料に「文武両道の進学校」にふさわしいレベルの高い学園祭を展開する。とありました。なんと力強い取り組みだろうと大変頼もしく感じました。橘祭当日、多くの来場者と共に生徒さん一人ひとりが自分をしっかりと演じておられました。高い理想に向かって現実の中で、一步一步努力が重ねられ目標が達成されることでしょうか。年齢を重ねた私たちも何かを学んだような気がしました。今後の京都橘中学校・高等学校さらなるご活躍をお祈り申し上げます。

という結果に迫るものでした。まだまだ課題はありますが次年度以降につなげていく所存です。

また夏のインターハイ(全国高校総体)には常連のバレーボール部と陸上部に加えて男子サッカー部が二年ぶり三回目の出場を果たし、のべ四五名の過去最高選手団を送ることができました。秋の国体ではバレーボール部が単独チームで、陸上部と男子サッカー部も個人で岩手県へ、吹奏楽部は関西で金賞獲得も全国には届かず、太鼓部も全国高校総合文化祭出場など例年通り頑張つてくれました。年末年始の高校サッカー、春高バレーでは両チームとも初戦敗退という初めての厳しい結果となりました。両チームとも初戦が大きなヤマという組み合わせをものともせず果敢に挑みましたが惜敗でした。物心でのご支援ありがとうございます。来年度にご期待ください。

最後になりましたが二〇一七年入学生徒数が三月二十二日の高校一斉登校日に確定しました。厳しい社会情勢の中、全教職員で生徒募集に取り組んでまいりました結果、中学校六八名、高等学校三八七名(内部V生五二名含む)となりました。次年度は更に新制服を含む新たな取り組みも予定しています。社会に貢献し、活躍できる人材育成のため今後も努力を続けてまいりますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

2015年度 会務報告

2015年4月～2016年3月

2015年

- 4月7日 京都橘中学校・高等学校入学式
 6月6日 役員会
 6月21日 総会（ホテルグランヴィア京都）
 7月中 バレーボール部、陸上部、太鼓部
 IH出場（お祝い金贈呈）
 7月28日 役員会
 9月9日 99期卒 伊藤舞 先輩を祝う会
 9月11日 役員会
 9月12日 学園祭
 10月31日 秋の散策（天橋立方面）
 12月11日 バレーボール部春高バレー出場お祝い
 男子サッカー部全国高校サッカー選手権出場お祝い
 吹奏楽部 全国マーチングコンテスト
 金賞お祝い

2016年

- 1月23日 役員会
 2月20日 役員会
 2月29日 春光会入会式
 3月1日 京都橘高等学校卒業式（臨席）
 3月18日 京都橘中学校卒業式（臨席）

2016年度
春光会総会報告

6月26日(日)2016年度春光会総会が京都タワーホテルで開催されました。会員39名、学校3名の参加でした。

総会では議題「会務報告、会計報告、予算案、役員承認」が報告されいづれも全会一致で承認されました。

総会後、橘翔会と合同で懇親会が行われました。恒例となった卒業生の信田あや子さんの舞踊、恩師の塩原先生のギターの弾き語りや懐かしい恩師との会話、会食と楽しい時間を過ごしました。今回は中高一貫Vコース1期の卒業生西村くんとそのお母様（S61年卒）が親子で出席してくださいました。

最後は平松先生の指揮で校歌と応援歌を合唱し散会しました。



【春光会2015年度決算】

自 2015年4月1日 至 2016年3月31日

項 目	収 入			備 考
	予 算	決 算	増 減	
入 会 金	2,980,000	3,010,000	30,000	@10,000×301
預 金 利 息	1,000	445	△ 555	
寄付金収入	100,000	98,000	△ 2,000	お祝い他
雑 収 入	30,000	44,207	14,207	橘祭売上 等
参加費等収入	590,000	802,495	212,495	総会・秋の散策参加費、弁当代
仮 払 収 入	0	24,000	24,000	
預り金収入	10,000	0	△ 10,000	
基本財産より戻金	0	0	0	
前年度繰越金	4,555,505	4,555,505	0	
合 計	8,266,505	8,534,652	268,147	

項 目	支 出			備 考
	予 算	決 算	増 減	
事 業 費	2,960,000	3,080,358	120,358	会報発行費用・入会記念品他
支部補助費	30,000	11,296	△ 18,704	同窓会補助
慶 弔 費	160,000	140,000	△ 20,000	吹奏楽部、太鼓部、バレー部・陸上部、サッカー部祝金他 伊藤舞氏祝い金
交 通 費	150,000	172,500	22,500	役員会他
会 議 費	30,000	35,286	5,286	弁当・お茶代
事 務 費	130,000	133,311	3,311	ハガキ、メール便等役員通信費 橘祭諸費用 他
寄 付 金	0	0	0	
予 備 費	0	0	0	
雑 支 出	0	0	0	
仮 払 支 出	0	24,000	24,000	
預り金支出	10,000	0	△ 10,000	
期末未払金	0	△ 38,664	△ 38,664	
基本財産へ組入	0	0	0	
次年度繰越金	4,796,505	4,976,565	180,060	
合 計	8,266,505	8,534,652	268,147	

基本財産

収 入		支 出	
受 取 利 息	1,175	一般会計へ	0
組 み 入 れ 金	0	次年度繰越金	6,568,552
前年度繰越金	6,567,377		
合 計	6,568,552	合 計	6,568,552

財産目録

経 常 費 の 部	現 金		191,288
	京都銀行	普通預金	4,367,277
基本財産の部	郵便貯金	定期預金	0
		郵便貯金	0
基本財産の部	京都銀行	振替口座	418,000
		定期預金	2,000,000
基本財産の部	合 計	普通預金	4,568,552
			11,545,117

【春光会2016年度予算】

自 2016年4月1日 至 2017年3月31日

収 入		金 額	備 考	支 出		金 額	備 考
入 会 金	3,270,000	@10,000×327名		事 業 費	3,000,000		総会支払・秋の散策・会報印刷・郵送費・記念品他
預 金 利 息	1,000			預り金支出	10,000		
寄付金収入	180,000	@1,000×180口		支部補助費	30,000		1支部・学年・クラス会
参加費等収入	800,000	総会会費(橘翔会分含む)、秋の散策参加費等		慶 弔 費	160,000		クラブ関係お祝い金
預り金収入	10,000			交 通 費	210,000		役員会・会報誌取材
雑 収 入	45,000	橘祭売上等		会 議 費	50,000		お茶代等
前年度繰越金	4,976,565			事 務 費	200,000		役員会案内郵送代、メール便代等、弁当代
				事務委託金	50,000		京都橘中学校・高等学校への事務委託費
				寄 付 金	0		
				予 備 費	0		
				基本財産へ組入	2,000,000		
				次年度繰越金	3,572,565		
合 計	9,282,565			合 計	9,282,565		

上記2016年度総会において承認済みのものである。

2016年度
春光会役員

会 長	松尾 律子 (昭35卒)	中井 美実 (昭54卒)
副 会 長	石村 常枝 (昭40卒)	西寄 信子 (昭57卒)
会 計	安田紀代子 (昭40卒)	森川 節子 (昭57卒)
	松村 典子 (昭41卒)	井上 和子 (昭58卒)
	村上夕美子 (昭58卒)	宗 裕子 (昭58卒)
三 上	幸子 (昭35卒)	松上 和子 (昭58卒)
	宮本 芳美 (昭41卒)	森安 優子 (昭61卒)
	西村 育恵 (昭61卒)	平野万里子 (昭63卒)
会 計 監 査	萱沼 房子 (昭35卒)	山本 美和 (昭63卒)
	川辺 幸子 (昭35卒)	寺田 由香 (平1卒)
	吉川 等子 (平2卒)	小松 里奈 (平4卒)
常 任 委 員	奥川ノブエ (昭19卒)	中辻 道子 (平4卒)
	出村美枝子 (昭35卒)	幡井 信子 (平10卒)
	奥野 晃子 (昭41卒)	武永 康宏 (平15卒)
後 藤 エ ミ 子	後藤エミ子 (昭41卒)	西村 裕介 (平15卒)
	菜晶 雅代 (昭52卒)	相 談 役
	上田 章子 (昭54卒)	
吉 岡	吉岡 春美 (昭41卒)	

後藤エミ子さん 平成28年12月
ご逝去されました。ご冥福をお祈り致します。

寄付金のお礼とお願い

本年度も春光会に対して、多くの会員の方々からご寄付をいただきました。氏名を掲載し、お礼に代えさせていただきます。

引き続き一口千円の寄付を受け付けていますので、同封の振込用紙でお願いします。住所、氏名と通信欄の寄付の欄に「口数、金額」をご記入ください。あわせて、卒業年、科も忘れずにご記入ください。

「ご寄付をいただいた方々(敬称略)」

昭和15・本	中田 幸子	35・商	山田 百合子	40・被	森 温子	41・商	宮本 芳美
18・本	岩淵 鈴子	35・被	中村 育子	41・被	原 真理子	48・商	細見 佳壽子
19・師	奥川 ノブエ	35・商	三上 幸子	41・被	信田 あや子	57・普	森川 節子
22・本	竹本 佳代	35・被	松尾 律子	41・商	上杉 悦子	57・普	風間 由美
24・専	森田 道子	35・商	黒川 貞子	41・商	後藤 エミ子	58・普	村上 夕美子
27・本	松井 寿美子	35・被	窪田 ヨシ子	41・商	荒川 浩子	58・普	宗 裕子
30・被	芦田 文子	36・被	藤田 初子	41・被	松村 典子		



十月十五日(土)に、春光会(同窓会)・橘幸会(卒業生父母)・橘翔会(退職教職員) 合同で「秋の散策」に参りました。

今年の企画が好評で、当初はキャンセル待ちが出るほどでしたが当日は三十六名の参加者で京都駅八条口アバンティ前を九時に出発しました。いざ大阪へ。

車中は和気あいあい、昭和四十二年卒の小林(旧姓 藤見) 先生のクラスがミニクラス会を開かれていました。

まずは、あべのハルカスへ。日本一高いビル「ハルカス300」へ直行。まず十六階までエレベーターに乗り、次は六十階まで高速エレベーターにて展望台へ。お天気が良く三六〇度のパノラマ、展望台ではちょうどガイド様の説明がありました。パンフレットで

探しているより、明らかに分かりやすく全体が見られました。下を覗くと足がすくみ、体がゾクゾク、恐ろしいほどでした。遠く離れた京都は霞んで山々が見える程度。「天空庭園、天上回廊、ショップ」で時間の許す限り堪能しました。参加者のご意見を聞きま

すと、「あべのハルカスへは何度も来ているが上ったことがなかったので」「ハルカス300に一度は上つてみたかったのだ」「お友達にあえるので」とのことでした。

一の串カツ横綱通天閣店」でお食事をいただきました。どこのお店も二十四時間営業。さすが眠らない街新世界(ジャンジャン横丁)。集合時間まで街をぶらぶら散策し通天閣の下まで行く人、お店でお酒を飲み交わす人、お茶で談話する人、それぞれの時間を過ごしました。

最後は、大阪水上バス「アクアライナー」で大阪城港より乗船し約五十分の船旅。大川を淀屋橋まで行き、Uターン。途中大阪の川に架かる橋が低いので屋根を下げることで通過できるよう

に、船には「アップダウン・ルーフ」が設けてあります。座高約三十cm下がります。座高の高い方は頭がすれすれ。さぞ春は、大川の桜堤と造幣局の通り抜けで素晴らしい眺めであるであろうと想像しておりました。

帰りの車中は皆様お疲れのよう静寂。あつという間に京都駅八条口アバンティ前へ到着しました。会から大部分援助が有り格安です。貴方も貴女も振るってご参加ください。毎年色々と企画をしますが、良い方面をお考えくださればご一報ください。



学校の近況

進路状況

二〇一六年度は一一三期生二六八名（Vコース二期生五三名を含む）の生徒が本校を卒業していきました。京都橘大学への進学者が内部推薦制度を利用して大幅に増えました（五〇名）。国公立大学の合格は、大阪大学、神戸大学、北海道大学をはじめ六八名（大学学校含む）となりました。私立大学には難関私立大学（関関同立）一三〇名を含め、延べ七〇八名が合格しました。また、関西圏以外の大学にも十二名が合格しました。最後まで諦めず頑張った結果です。今後も生徒の進路実現のため、応援していきます。

入試状況

（中学校）

開校八年目のVコース。落ち着いたキャンパス・校風の中、京都橘での六年

おもな大学の合格者数

（3月31日現在）

■国公立大学（68名）

大阪大学	（1名）
神戸大学	（4名）
北海道大学	（2名）
京都府立医科大学	（2名）
京都府立大学	（2名）
大阪府立大学	（3名）
滋賀大学	（2名）
滋賀県立大学	（5名）
兵庫県立大学	（4名）
京都工芸繊維大学	（2名）
東京外国語大学	（1名） 他

■私立大学

京都橘大学	294名
関関同立	130名
産近龍佛	148名
上智・日本・聖路加国際大学	他

■短期大学	9名
■専門学校	22名
■就職等	5名

間で心身ともに大きく成長を遂げていく生徒の様子に安心感・期待が高まっています。午後入試も定着、本校への志望度が高いと思われる初日午前の受験者を含め、志願者は前年比126%の二九八名と増加しました。入学者も昨年の六七名に続き、今春も六八名（定員六十名）を迎えてのスタートです。親子二代、また二人・三人と兄弟姉妹で在籍中のご家庭も多く、「橘ファミリー」がさらに増えていきます。

（高等学校）

二〇一七年度入試においては、国公立大学希望者増に伴う国公立進学（S）コースの定員増（四十名→六十名）をはじめ、後期日程の導入、また、英検取得者の優遇（取得級により点数加算）などの改革を行いました。志願者数はここ三年、一、二四三名→一、三六七名→一、六四八名と増加、中でもSコースは「最高志願倍率一二・一倍」と今年も新聞各紙でとりあげられました。入学者も二四三名→二六〇名と増加していましたが、今春は三三五名（定員二六〇名）の外部入学者を迎え、内部進学者あわせて一〇クラスでスタートです。特別進学（E）コースは探究型の学びで様々な取り組みが着実に進行、総合進学（A）コースもクラブ活動をはじめ豊かな高校生活を送っています。

「卒業後いつ訪ねても」あの時の先生がいる！これが私学の良さの一つです。いつでも母校へ帰ってきてください。教職員一同心よりお待ちしております。そして、広く京都橘をご紹介ください。

クラブピックアップ

2016年度の主なクラブの全国大会での戦績

吹奏楽部

第43回関西マーチングコンテスト
3年連続16回目の出場 金賞、関西代表
（9月 大阪）

太鼓部

全国高等学校総合文化祭
＜郷土芸能部門＞
17年連続出場（7-8月 広島）

陸上競技部

全国高校総合体育大会＜インターハイ＞
8年連続出場

女子4×100mリレー 4位

国民体育大会（10月 岩手）
成年少年女子共通 4×100mリレー 決勝進出（壹岐あいこ、吉野史織が走者として参加）
少年女子A 400mH 安達真咲 8位
少年女子B 100m 壹岐あいこ 8位

女子バレー部

全国高校総合体育大会＜インターハイ＞
18年連続 20回出場
ベスト8（7-8月 山口）
国民体育大会＜少年女子＞

京都橘単独チームで出場 2回戦敗退
（10月 岩手）
全日本バレーボール高校選手権大会
＜春の高校バレー＞
18年連続 20回出場 1回戦敗退
（1月 東京）

男子サッカー部

全国高校総合体育大会＜インターハイ＞
（7月 広島） 2年ぶり3回目の出場
インターハイ初勝利！（2回戦敗退）
全国高校サッカー選手権大会（12月 千葉）
5年連続6回目の出場

入会式

高等学校の卒業式を翌日に控えた2月28日火曜日、京都橘中学校・高等学校フェスティバルホールにて、春光会入会式を行いました。2016年度卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。新たに入会される271名の皆さんを心より歓迎し、松尾律子会長より卒業生代表木下祐希さんへ、春光会の会員証と入会の記念品としてUSBメモリを贈呈致しました。



入会式

どんどん開こう 同窓会

春光会では、学年、コース、クラブ単位等の同窓会開催、企画を援助するための補助制度を設けています。開催を計画している会員は事務局まで一報ください。補助金は左記の内容です。

〔案内送付対象者数〕が

20～50人……………5,000円
51～100人……………10,000円
以上、50人を超える毎に
5,000円アップします。

対象

学年・コース・クラス・クラブ単位他
*補助を受けた場合、その対象者の名簿と、会報等で紹介したいため、報告書、写真等の提出が必要となります。



“S49年度卒業生一同”

学園祭

恒例の橘祭が、九月十日(土)に開催、春光会も例年どおり参加させて頂きました。いつも大好評のみたらし団子、三色団子、洋菓子の販売を今年も行ない、あつという間に完売。他に手作りの食用ローリエ、あぶらとり紙の販売も好評でした。

また、卒業生の作品展示も行ないました。萱沼房子(旧姓：将野 昭和三五年卒業)さんの油絵六点で、うち一点は今年の春光の表紙を飾っています。どれも素晴らしい作品で、多くの



リオオリンピック女子マラソン



伊藤 舞さん

昨年春光28号の表紙を飾ってくれました。日本代表として、世界の大舞台で厳しい状況下で完走を成し遂げられました。46位でしたが、彼女の表情はどこか清々しく「もう一度頑張りたい。」と話されていました。伊藤舞さんのさらなる活躍を卒業生一同期待しております。

二〇一七年橘祭

九月七日(休) 合唱コンクール

九月八日(金) 演劇コンクール

九月九日(土) 橘祭

人が鑑賞されていました。毎年同室の陶芸教室(橘幸会)の皆さんの作品もとても好評でした。
春光会(同窓会) コーナーではお茶のご用意をして卒業生の皆様のご来場をお待ちしております。ぜひ橘祭にお立ち寄りください。



故 小森 榮子
(旧姓 吉田)
昭和十五年卒業

おじやまします
広報です

シリーズ⁽²⁴⁾

栄養指導一筋に半世紀

大正十二年、室町下水がらで誕生されました。生後一年で実母と死別。その後、賢明で教育熱心な継母に育てられました。そんな母の薦めもあって京都手芸女学校に入学されました。手芸女学校の教育により、どんなものも器用に美しく、早く縫うたり作ったりすることが出来る人でありました。学校卒業の翌年昭和十六年十二月に戦争が始まり、傷病兵を看護しようと博愛の精神から、看護婦の道に進まれました。体が弱かったために戦地には行かずに京都第一赤十字病院において体力的にも激しく大変御苦労されましたが、看護婦



長も務められました。看護婦時代、栄養士の免許をとるよう病院から希望され、戦争中にも関わらず、東京の厚生省研究所にて勉強し、東京大空襲にも遭い、毎日戦争の恐怖と向き合いながら、無事卒業することができました。戦後は米軍に赤十字病院を占拠され、病院にいた日本人は近くの東福寺に移動しなければなりません。その時に佐賀県のお寺から修行に来られていた京都大学生のご僧侶と東福寺のお台所でお知り合いになり、その後その男性とご結婚されました。それでも仕事に対する責任感が強く、幼いわが子を母に託して使命の道に徹して貰われました。京都府栄養士会会長に就任され、会の発展に尽力されたほか、同志社女子大学等の教壇に立って後進を育てられ

ました。

戦後の食糧難時代には栄養失調、飽食の時代を迎えた現代は肥満や糖尿病と食生活の密接な

つながりを目の当たりにして、乱れがちな食生活を見直すことが大切と、子供の時から教育することが大事と、フランスのとれた学校給食の献立を活かした教材にして、食生活に対する認識を深めようとされました。そして楽しく食べる事を生活の基本と願われていました。

日々お忙しい中にも関わらず、素晴らしい趣味もお持ちでした。俳句も詠



まれ「ホトトギス」の会員にもなっておられ、時にふれて数々の俳句も。また、水墨画にも心を注がれ、素晴らしい作品を多く残されています。そしてバラの花が大変好きだったそうです。

勲五等瑞宝章受章

いつもどんな時もプラス思考で、まさに京都府の栄養士会を代表し多大な貢献をされました。激動の昭和の時代を体を張って生き抜かれた小森榮子さんは、平成八年四月、勲五等瑞宝章を受章されました。

温厚誠実な人柄であってもお仕事となると、妥協しない誇りをもった方でした。「先生は常に厳しく常に継続して活動することの大切さを教えて下さ

った。」そしてまた、「公明正大にして責任感強く、後輩の人々にもちよつと離れて見守る優しさを持つておられた。」と、多くの方が小森榮子さんを偲んで讃嘆される、素晴らしいご生涯を送られました。

今回の春光の「おじやまします広報です」では、小森榮子さんの娘様の上

小森榮子さんプロフィール

大正12年	室町出水下がるに生まれる
昭和15年	京都高等手芸女学校卒業
昭和18年	京都第一赤十字病院 日本赤十字社甲種救護婦生徒の課程卒業
昭和20年	厚生省研究所養成訓練規定により栄養学科本科卒業
昭和23年	栄養士免許取得
昭和24年	京都府庁衛生部栄養主管課技術吏員・主査
昭和39年	制度改正により管理栄養士に
昭和23年～ 昭和44年	21年間京都府に専門職として勤務 (管理栄養士・看護師)
昭和43年～ 昭和63年	京都府栄養士会会長、日本栄養士会理事
昭和45年～ 平成14年	京都栄養士専門学校・平安女学院短期大学 京都文教短期大学・同志社女子大学等の講師
平成8年4月	勲五等瑞宝章 受章
平成14年	京都府栄養士会名誉会長
平成24年	永眠 89歳

田啓子様、お孫様の上田華子様、長時間の取材にも快くお話をしていたいただき、大切な写真をはじめ、思い出の資料と作品までお貸しくございました。心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



2017年度 春光会総会・懇親会のご案内

本年度の春光会総会・懇親会を下記のとおり開催いたします。同窓生の皆様お誘いあわせの上、懐かしいひとときをお過ごしくださいますようお願い申し上げます。

今年度も、退職教職員の会である「橘翔会」と教職員との合同で懇親会を開催いたします。懐かしい恩師もたくさんお見えの事と思いますので、ぜひご参加ください。

記

- 日時 **2017年6月24日(土)**
午前10時30分から(受付は10時)
- 場所 **京都ブライトンホテル**
京都府京都市上京区新町通中立売下る仕丁町330
TEL(075) 441-0489
- 内容 **会務・会計報告・予算案・懇親会**
- 会費 **7,500円**
(学生・未成年の会員は**3,000円**)

ご出席のお申し込みは会費の納入を持って受付をさせていただきます。準備の都合上、お振込みは6月16日(金)までお願いいたします。なお、例年と開始時間・会費が異なりますので、ご留意ください。

2017年度 秋の散策のご案内

春光会では毎年、秋の散策というバス旅行を開催しています。卒業生の父母の会である「橘幸会」や退職教職員の会である「橘翔会」と合同で開催しており、今年は名古屋方面への旅行を予定しております。秋の思い出づくりにふるってご参加ください。定員45名で先着順となりますので、お早めにお申し込みください。

記

- 日時 **2017年10月14日(土)**
午前8時40分 京都アバンティ前集合(午前9時出発)
午後6時ごろ 京都アバンティ前帰着
- 行先 **名古屋方面**
トヨタ産業技術記念館、サッポロビール名古屋ビール園
浩養園(昼食)、ノリタケの森
- 会費 **5,000円**(当日払いでお願いします)
- 定員 **45名**(先着順) ● 参加申し込み締切 **9月29日(金)**
- 申込先 京都橘中学校・高等学校 事務部 春光会係
〒612-8026 京都市伏見区桃山町伊賀50
TEL 075-623-0066 FAX 075-601-2125
e-mail:jimubu@tachibana-hs.jp
- 申込方法
お名前、ご住所、電話番号、卒業年を電話・郵送・FAX・メールのいずれかで本校までご連絡ください。春光会員、橘翔会員、橘幸会員以外の方はお申込みいただけませんので、ご注意ください。
開催日直前のキャンセルはキャンセル料をいただくこともありますので、ご注意ください。

母が卒業した京都橘に 自ら進学して神戸大学に合格

西村 育恵
(S61年卒業)

2

私が卒業したのは、学校が桃山に移転してはじめての年。なかなか進学が決まらず、たしか最後に短大進学が決まったと思います。先生方の教えもあり、初等教育学科へ進学できました。担任の先生と卒業してから何度かお会いし、祐太郎が産まれた時も学校に連れて行き先生方に抱っこしてもらいました。それから祐太郎が小学六年生になった時、京都橘のオープンキャンパスに行き、京都橘を受験したいと言われました。祐太郎が小学一年生の時に母子家庭となり、私学に入学させるなんて無理とあきらめさせようと思いましたが、母の支えもあり試験を受ける事になり、合格・入学することとなりました。入学式の時の受付で「卒業生ですよ」と声をかけられすごくビックリしました。もう二十五年も前に卒業したのに覚えてもらっていて高校生に戻った

た気分でした。懐かしい校舎、ホール、校歌：入学式で保護者が歌っているのは、私だけでした。

私が通っていた頃の京都橘、というだけではなく、国公立を目指すためのVコース。考えられなかったです。目標は、東大・京大と学校は掲げていました。学習合宿、補習、高二の三月からは校内予備校である進学アカデミーを開催してもらいました。受験前、大晦日以外は毎日学校へ行き、近所の方からは「日曜日も学校か」と言われるくらい毎日朝から夜八時まで勉強し、目標の東大を目指し頑張っていました。センター試験の手ごたえはあったものの東大には合格できず、後期試験でやっと神戸大学に合格し、親子共々すごく長い受験期間を経て最後に進学が決まりました。先生方ありがとうございました。

神戸大学に入学して寮に入り、自炊、勉強、部活とやって行けるかと思いましたが、中学から勉強ばかりしていた祐太郎が一番きついクラブである端艇部に入部し、夏合宿で真つ黒に日焼けし、十月二十二日の全国大会の新人戦では優勝し、別人のようになりました。皆がビックリする変わり様ですが、先生方のおかげで大学生生活を楽しんでいます。本当にありがとうございました。現在は進学アカデミーで教える側になり、未だに京都橘にお世話になっております。

西村 祐太郎
(H28年卒業)

Vコース一期生、一二期卒業生の西村祐太郎です。今回は京都橘生として過ごし得られた経験などを話そうと思います。

僕はVコース一期生でもあるのですが、京都橘中学入学の動機で一番大きいことは、一期生になれ新しい事への挑戦に魅力を感じたからです。また、京都橘が母親の通っていた学校ということも決めたの一つになりました。入学してみると、中学における先輩がどの学年もいないというのは不思議な感じで不安もありましたが、当時の高校三年生を筆頭に高校の先輩方が交流会などの行事を開くなど様々な形でサポートしてくださり、楽しく中学生活を過ごすことができました。

僕は地元小学校では成績上位で図に乗っていたのですが、京都橘中学では入学当初の成績が中下だったため激しく悔しさを覚え、今までの自分の過信を恥じました。このことを受けて、入学してからは受験勉強以上に必死になって勉強して、自分の納得できるまでに至りました。この時の姿勢はそれ以降の勉強だけでなく、大学受験の際にも役立つと思います。

他の学校を知りませんが、京都橘中高を通じて行事の豊富さが挙げられます。研修旅行や文化祭など一般的なもののから演劇鑑賞会や著名人の講演会など他校には見られない貴重なイベントも多かったと思います。外部だけでなく、京都橘の卒業生の講演もあり、京都橘生にしかできないよい経験ができたと思います。

次に受験時代から現在に至るまでの過程を話したいと思います。僕が東京大学を本格的に第一志望として見据え始めた

のは、進学アカデミーという高校三年生を対象とした校内予備校に出会ってからでした。進学アカデミーについては語りすぎると宣伝になるので割愛させていただきますが、中学時から担任や周りに言われつづけていたので特に違和感なく突き進みました。結果から言うと前期試験で不合格でした。思い返せば、センター試験でボーダーを大きく上回ったことによる驕りが一番の原因だったと思います。運よく、後期試験で神戸大学に合格しました。支えてくれた先生方や、特に母親を含む家族には申し訳なく後悔しましたが、今は神戸大学での生活を受け入れ楽しんでいます。特に一番の変化は中高時代に文化系のクラブに参加していたのが、大学に入ってから運動系の部活に入った事です。

最後に後輩たちに伝えたいことを書いてしめさせていただきます。まず、人生は良くも悪くもどうにでもなるということです。完全な持論ですが、僕はすべての人生にはプロトタイプのようなものが与えられていて、身を任せれば天命通りの終わりへと向かっていくものだと思います。途中には様々な分岐点があり、自分の求める道を選びます。その選択には努力や犠牲が伴うかもしれませんが、ここで言いたいのが、岐路に気づけたときには自分の理想を、野心を、追い求めて欲しいということです。偉人の言葉を借りれば、*"Boys and girls, be ambitious unlike this stupid man."* すね。強い意思を持って壁に立ち向かってほしいということです。この先様々な出来事があるでしょうが、共に乗り越えていきましょう。